科目ナンバリング	U-LAS00 10001 LJ34						
授業科目名 <英訳>	哲学 I Philosophy I			担当者所属 職名・氏名	文学研究科　准教授　伊原木　大祐		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	哲学・思想(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	火2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

テーマ：禁欲の哲学
本講義では、過去の哲学者たちが「欲望」の問題に対していかに思考し、いかに対処してきたかを身体論的な見地から考察する。具体的には、「禁欲」思想の形成過程について、古代世界を中心に分析してゆく予定である。その際に大きな導きの糸となるのは、ニーチェの名高い論考「禁欲主義的理想は何を意味するか」（『道徳の系譜』第三論文）である。

[到達目標]

1．西洋哲学思想に関する理解を深め、その知識を利用して特定のトピックにアプローチできるようになる。
2．身体および欲望の問題を西洋の精神史的背景から考察できる。
3．複数の思想的立場に関する学習や研究を通して、各人が自らの考えを展開できるようになる。

[授業計画と内容]

第1回　イントロダクション
第2回　古代哲学の基礎的身体論①プラトン『パイドン』
第3回　古代哲学の基礎的身体論②ホメロスへの回帰
第4回　ギリシア身体文化史と哲学
第5回　禁欲の解釈をめぐって①プラトン
第6回　禁欲の解釈をめぐって②アリストテレス
第7回　中間のまとめ（授業内でのテストを含む）
第8回　禁欲の解釈をめぐって③ストア派
第9回　キリスト教哲学の萌芽
第10回　古代世界における「肉」概念の導入
第11回　アウグスティヌスと欲望の問い
第12回　カント倫理学と禁欲主義
第13回　ショーペンハウアーと欲望の問い
第14回　ショーペンハウアーの禁欲主義
第15回　フィードバック

[履修要件]

特になし

哲学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

哲学Ⅰ(2)

[成績評価の方法・観点]

途中の授業回で課す小テスト40点、および学期末レポート60点により評価する。テストおよびレポートについては到達目標の達成度に基づき評価する。
テストの形式は初回の授業で詳しく説明し、レポートの詳細と評価基準は課題発表時に提示する予定。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業で紹介・引用する哲学者の文章をよく読み、授業内容をヒントに解釈を進め、現代的事象とのつながりを考えてみること。授業中に興味をもった事柄について、紹介文献を手がかりに自分で進んで調べること。

[その他（オフィスアワー等）]

履修および単位取得に関して不明な点などあれば、いつでもメールで質問してください（ibaragi.daisuke.4r@kyoto-u.ac.jp）。